

主催：公益財団法人大倉精神文化研究所 共催：横浜市大倉山記念館指定管理者

# 大倉山講演会

波濤を越えた近代日本人たち

令和7年4月12日(土)

要事前申込  
(詳細裏面)

## 大倉家三代—孫兵衛・文二・邦彦—の異文化体験 —企業理念と人材育成、そして研究所創立へ—

関東大震災の余韻もさめやらぬ大正14年(1925)の春、大倉洋紙店(現：新生紙パルプ商事株式会社)の三代目社長であった大倉邦彦(1882~1971)は、「国民の良心の扉」を開きたいとの使命感に燃え、私財を投じて精神文化図書館の創立に着手します。これが、現在も続く大倉精神文化研究所のはじまりでした。

大倉邦彦が会社経営をする傍ら、心豊かな社会の実現を目指して教育事業、そして研究事業に尽力した背景の一つに、大倉洋紙店の企業理念があります。

同社では社員教育が重視され、社員には「天命を信じて正道を踏」み、相手に「満足と愉快と信頼」を得られるようにと説いていました。これは初代社長・大倉孫兵衛と二代目社長・大倉文二の時から提唱されており、それぞれの異文化体験に基づいたものでした。

本講演では、大倉孫兵衛と文二の異文化体験が大倉洋紙店の経営にどう影響を与えたのか、そして邦彦の異文化体験も紹介し、なぜ研究所創立を企図するに至ったのかを考えてみます。座学の後には、研究員が大倉精神文化研究所の本館、現在の大倉山記念館の館内をご案内いたします。

今回は座学と  
館内見学です

◇時間： 講 演：午後2時~3時 (開場は午後1時45分)

館内見学：午後3時~3時30分 (予定)

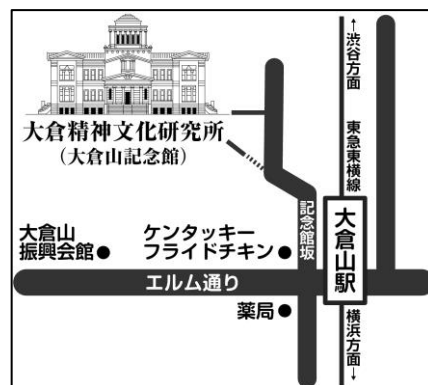
◇会場：横浜市大倉山記念館 第4集会室

横浜市港北区大倉山二丁目10-1 大倉山公園内  
(東急東横線大倉山駅下車徒歩7分)

◇講師：星原 大輔 (大倉精神文化研究所研究部長)

◇定員：30名 (入場無料、要申込・先着順)

◇申込方法：詳細は裏面



次回予告 6月21日(土) 大倉山講演会

次世代育成にかける夢—津田梅子のノブレスオブリー

—ジュの精神— 講師：高橋 裕子(津田塾大学学長)

# 大倉山講演会 令和7年第2回 申込書

ご提供いただいた個人情報は、講演会への参加確認、並びに延期・中止が決定した場合のご通知のためにのみ利用させていただきます。  
なお、本講演会の終了後、速やかに廃棄いたします。

- ① **メール** 「参加をご希望される日にち」と「ご氏名（よみがな）」を、下記のアドレスに送る

**okuraseishinbunka@js6.so-net.ne.jp**



こちらから、メールアドレスを読み取れます。

- ② **FAX** 下記の「ご氏名（よみがな）」と「ご連絡先」を記入して、本紙を送る(045-542-0051)

ご氏名（よみがな） 複数名の場合は全員の氏名をご記入ください

ご連絡先 複数名の場合は代表者のみをご記入ください

- ③ **Google フォーム** 下記のQRコードを読み取り、必要事項を入力する



大倉精神文化研究所が主催する各イベントの情報をメールでお届けします。受信をご希望される方は、右のQRコードからご登録ください。（後日、自由に解除することができます）

